

## 令和 3(2021)年度の取組状況について（協議会事業）

事業費：13,101 千円（3 月末時点）	
<b>文化庁補助事業（100%補助）【決算額：7,976 千円】</b>	
○ <b>ガイド養成事業（継続）【事業費：2,932 千円】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 階層別、テーマ別のガイド養成講座の開催</li> <li>・ 地域間ガイド交流・視察事業の開催</li> <li>・ 共通アパレルの制作</li> </ul>
○ <b>地域を思ふヒトづくり事業（新規）【事業費：231 千円】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実務者向け研修会・意見交換会等の開催</li> </ul>
○ <b>次世代伝承事業（継続）【事業費：783 千円】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員向け研修ツアー、地域交流会等の開催</li> <li>・ 出前講座の開催</li> </ul>
○ <b>「地域のお宝」活用促進事業（新規）【事業費：2,130 千円】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地域のイベントと連携した炭鉄港関連イベントの開催</li> </ul>
○ <b>ツアー・コンテンツ造成事業（新規）【事業費：2,025 千円】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チャーター便による北海道⇄鹿児島モニターツアー実施</li> <li>・ 道内客向け旅行コンテンツの造成</li> </ul>
○ <b>日本遺産相互連携事業（新規）【事業費：197 千円】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道内外の他の日本遺産との連携による情報発信</li> <li>・ 日本遺産フェスティバルへの参加</li> </ul>
○ <b>その他経費【事業費：634 千円】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道内外の他の日本遺産との連携による情報発信</li> </ul>
<b>文化庁補助事業（65%補助）【決算額：4,996 千円】（うち文化庁補助金：3,247 千円）</b>	
○ <b>ポータルサイト構築事業（新規）【事業費：3,499 千円】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報をワンストップで得られる WEB サイトの構築</li> </ul>
○ <b>小樽を拠点とした情報発信事業（新規）【事業費：1,497 千円】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小樽を訪れる観光客向けに、観光物産プラザ等に炭鉄港コーナーを設置</li> </ul>
<b>協議会事業【決算額：129 千円】</b>	
○ <b>炭鉄港カードキャンペーン事業（継続）【事業費：129 千円 ※協議会単費】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 弾炭鉄港カード配布に伴うキャンペーン実施</li> </ul>

事業名	ガイド養成事業
事業費	2,931,770円（全額文化庁補助のうち1,991,770円当初、940,000円二次募集）

## 【目 的】

令和元年度から続く炭鉄港ガイド養成事業の3か年目として、日本遺産「炭鉄港」のストーリーについて、ガイドによる受入体制を整備して来訪者に伝えることにより、来訪者の理解の促進及び満足度の向上を図る。

## 【事業内容】

- 1 階層別、テーマ別のガイド養成講座
  - ・ 「リスクマネジメント」「磨き上げ」「炭鉄港アップデート」等をテーマとした講座の開催
  - ・ 講座内容の録画、編集
- 2 地域間視察&交流会 in 小樽
  - ・ 令和2年度に三笠で開催した地域間視察&交流会を小樽で開催
  - ・ ガイド養成講座受講者のガイド実践
- 3 地域間視察&交流会 in 室蘭
  - ・ 令和2年度に三笠で開催した地域間視察&交流会を室蘭で開催
- 4 「炭鉄港ガイド名簿」整理
  - ・ 令和2年度に作成した「炭鉄港ガイド名簿」のガイド経験値を明確化
- 5 アパレル販売
  - ・ 地元事業者と協力したアパレル販売

## 【実施結果】

### 1 ガイド養成講座

#### (1) 実施概要

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、実地開催からオンライン開催へ変更した。

日 時：令和3（2021）年9月23日（木・祝）、9月26日（日）

場 所：オンライン開催（配信拠点は、そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター石蔵）

講 師：吉岡 宏高氏（NPO法人炭鉱の記憶推進事業団 理事長）

新野 和也氏（MFAインストラクター、NPO法人どんころ野外学校）

大山 幸彦氏（全国通訳案内士、観光庁「DMO外部専門人材」）

参加者：延べ513名（1～6時限目の各参加者の合計）

### 2 地域間視察&交流会 in 小樽

#### (1) 実施概要

日 時：令和3（2021）年10月23日（土）

場 所：小樽市総合博物館、小樽市街地、小樽経済センタービル

参加者：40名

#### (2) プログラム概要

- ・ 小樽市総合博物館、小樽港北防波堤等の見学
- ・ 小樽市街地の街歩きツアー  
「おたる案内人」ボランティアガイドの会の協力による。
- ・ 交流会
- ・ ガイド養成講座受講者のガイド実践  
ガイド養成講座を受講した2名が街歩きガイドを担当し、交流会の一部として「ガイド実践に踏み込んだきっかけ」「ガイド養成講座をガイドにどう活かしたか」をテーマにインタビューを行った。

### 3 地域間視察&交流会 in 室蘭

#### (1) 実施概要

日 時：令和3(2021)年11月23日(火・祝)  
場 所：室蘭市民会館、輪西地区  
参加者：48名

#### (2) プログラム概要

- ・ たたら製鉄体験
- ・ 室蘭の鉄と鋼を学ぶセミナー  
講師：石崎 勝男氏（室蘭登別たたらの会）、伏木 晃氏（郷土史家）
- ・ 輪西地区・街歩きガイドツアー
- ・ 交流会

### 4 「炭鉄港ガイド名簿」整理

#### (1) 実施概要

- ・ 令和元～3年度のガイド養成事業参加状況の整理
- ・ 「炭鉄港ガイド名簿」登録情報の更新（対象者103名中43名が回答）

### 5 アパレル販売

#### (1) 実施概要

ソラチファクトリー（岩見沢市）の協力により、ガイド向けアパレル販売を開始した。



事業名	地域を思ふヒトづくり事業
事業費	230,970円（一部協議会負担（講師旅費、報償費））

## 【目 的】

日本遺産「炭鉄港」の構成文化財を保全・活用していく人材の育成及びアフターコロナ期における日本遺産の活用の在り方などを検討するため、行政・団体等関係者向けの実務者研修会を開催し、日本遺産を活用した地域づくりの手法等を学ぶ。

## 【事業内容】

### 1 講師

文化庁日本遺産審査委員会委員 丁野朗氏

### 2 内容

- (1) 日本遺産「炭鉄港」に係る小樽市の取組、まちづくりについて意見交換の実施
- (2) 小樽総合博物館の炭鉄港関連展示の視察及びまちづくり関係者を対象とした実務者研修会の実施
- (3) 炭鉄港地域のまちづくり関係者を対象とした実務者研修会の実施

## 【実施結果】

### 1 実施概要

- (1) 令和3(2021)年11月26日（金） 9：30～10：30 小樽市役所
- (2) 令和3(2021)年11月26日（金） 10：40～11：40 小樽市総合博物館
- (3) 令和3(2021)年11月26日（金） 15：00～17：00 岩見沢平安閣

### 2 当日の内容

- ・ 小樽では、市長をはじめとした小樽市の構成員が参加し、今後の日本遺産「炭鉄港」の活用について意見交換を行ったほか、実務者レベルのまちづくり関係者を対象とした研修会を開催し、日本遺産を活用した地域づくりの手法等を学んだ。
- ・ 岩見沢での研修会には、構成文化財をもつ12市町のうち、11市町が参加（月形町は当日欠席）、その他商工会議所や観光協会、団体からも実務担当者が参加し、活発に意見交換が行われた。
- ・ 今後は各地域の「炭鉄港」に関連するサブストーリーの掘り起こしを検討するという意見が得られた。





事業名	次世代伝承事業
事業費	783,295 円（全額文化庁補助）

### 【目 的】

教職員、教育旅行関係者を対象に、炭鉄港の現地研修ツアーを行い、教職員、教育型旅行の受け入れ施設の双方での意見交換を行うとともに、令和元年度に空知総合振興局事業として実施していた「出前講座」の広域実施により、次代を担う人材の育成を図る。

### 【事業内容】

- 1 次世代伝承事業として教育旅行に使用できる施設の見学ツアー及び受け入れ施設との意見交換会
- 2 炭鉄港出前講座の開催

### 【実施結果】

- 1 次世代伝承事業委託業務（教職員バスツアー及び意見交流会）
  - (1) 実施概要
 

日時：令和3(2021)年11月6日（土）10：00～17：00  
 場所：月形樺戸博物館、三笠市立博物館、三笠市民会館  
 参加者：28名
  - (2) プログラム概要
    - ・ 教職員、教育出版関係者による月形樺戸博物館の視察（ガイド：解説員 浦崎 清氏）
    - ・ 教職員、教育出版関係者による三笠市立博物館の視察（屋内ガイド：学芸員 相場 大佑氏、屋外ガイド 下村 圭氏（ジオパーク推進協議会事務局長））
    - ・ 教職員、教育旅行受入施設職員を交えた意見交流会（講師：鹿糠 昌弘 氏（空知社会科教育研究会）、下村 圭氏）
- 2 出前講座
  - (1) 実施概要
 

募集期間：令和3(2021)年5月10日（月）～令和4(2022)年2月28日（月）  
 実施件数：11件（9校）  
 派遣講師：北口 博美 氏（NPO 炭鉱の記憶推進事業団）  
 酒井 裕司 氏（イメージランドスケーププランニング）  
 平野 義文 氏（北海道「炭鉄港」市町村議員連盟）
  - (2) 講義内容
 

各学校の希望による（座学、フィールドワーク等）



事業名	「地域のお宝」活用促進事業
事業費	2,130,298 円（全額文化庁補助）

## 【目 的】

炭鉄港という地域の「お宝」を活用した普及啓発イベントの開催を通じ、交流・関係人口を創出する。

## 【事業内容】

各構成市町が企画する地域の独自イベント（それぞれの地域の特性や強みを活かした普及促進イベント）

## 【実施結果】

### 1 PRイベント等

#### (1) 月形町

- ・ 日時：令和3(2021)年7月16日（金）～令和3(2021)年7月23日（金）
- ・ 場所：月形樺戸博物館、旧石狩月形駅、月形温泉ゆりかご

#### (2) 夕張市

- ・ 日時：令和3(2021)年7月22日（木）、令和3(2021)年7月23日（金）
- ・ 場所：名産センター、黄色いハンカチ広場

#### (3) 栗山町

- ・ 日時：令和3(2021)年8月1日（日）～令和3(2021)年9月30日（木）
- ・ 場所：小林酒造なつかしホール

#### (4) 三笠市

- ・ 日時：令和3(2021)年8月7日～22日の土日、10月2日（土）、3日（日）
- ・ 場所：MIKASA ぽけっとマルシェ COCOCHI

#### (5) 小樽市

- ・ 日時：令和3(2021)年9月1日（水）  
～令和3(2021)年10月31日（日）
- ・ 場所：小樽堺町通り商店街

#### (6) 安平町

- ・ 日時：令和3(2021)年10月9日（土）、10日（日）
- ・ 場所：道の駅あびら D51 ステーション

#### (7) 美唄市

- ・ 日時：令和3(2021)年10月30日（土）
- ・ 場所：東明駅舎

#### (8) 室蘭市

- ・ 日時：令和4(2022)年1月18日（火）、  
令和4(2022)年2月22日（火）
- ・ 場所：旧室蘭駅舎



### 2 フォーラム

#### (1) 三笠市

- ・ 日時：令和4(2022)年2月5日
- ・ 場所：炭鉱の記憶マネジメントセンター石蔵



事業名	ツアー・コンテンツ造成事業
事業費	2,025,370円（全額文化庁補助） ※1,995,000円は令和4(2022)年度に繰越し

## 【目的】

商品化を意識したコンテンツ造成及びモニターツアーの催行により、令和4(2022)年度以降の商品化に繋げる。

## 【事業内容】

- 1 北海道⇄鹿児島モニターツアー（令和2年度から繰越し）
    - ・ 鹿児島からの道外客を対象としたモニターツアー催行及び分析
  - 2 鹿児島から有識者を招聘したファムトリップ開催
  - 3 周遊モデルコースの造成
- ⇒ 2、3は令和4(2022)年度へ繰越し

## 【実施結果】

- 1 北海道⇄鹿児島モニターツアー
  - (1) 実施概要
 

日時：令和3(2021)年11月19日(金)～21日(日)

参加者：集客7名、有識者2名
  - (2) 周遊コース
 

当初、A・Bコースの2コースにより催行予定だったものの、集客が7名に留まったことから、Aコースのみ催行した。

    - ・ 1日目
 

鹿児島空港 ⇒ 伊丹空港 ⇒ 新千歳空港 ⇒ 昼食：ジンギスカン（由仁ガーデンジンギスカンハウス）  
⇒ 夕張市石炭博物館 ⇒ 宿泊：芦別温泉スターライトホテル
    - ・ 2日目
 

宿泊：芦別温泉スターライトホテル ⇒ オプションツアー：旧三井芦別鉄道炭山川橋梁  
⇒ 赤平市炭鉱遺産ガイド施設 住友赤平炭鉱立坑櫓 ⇒ 安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄  
⇒ 昼食：美唄焼き鳥、鳥めし、そば（ピパの湯ゆーりん館） ⇒ 小樽市総合博物館 ⇒ 小樽市内散策  
⇒ 祝津公園展望台・潮見公園展望台（室蘭市） ⇒ 宿泊：室蘭プリンスホテル
    - ・ 3日目
 

宿泊：室蘭プリンスホテル ⇒ 地球岬・トッカリシヨ ⇒ 潮見公園展望台 ⇒ 瑞泉閣  
⇒ 旧火力発電所 ⇒ 室蘭市旧室蘭駅舎 ⇒ 旧三菱合資会社室蘭出張所 ⇒ 旧絵鞆小学校  
⇒ 昼食：室蘭やきとり弁当（道の駅みたら室蘭）（3日目ここまで全て室蘭市内） ⇒ 新千歳空港  
⇒ 神戸空港 ⇒ 鹿児島空港
  - (3) 分析
 

参加者全員からアンケートを回収し、委託事業者より取りまとめた報告書の提出を受けた。





事業名	日本遺産相互連携事業
事業費	196,658円（全額文化庁補助）

### 【目的】

関連する日本遺産と相互の情報発信や視察等に取り組み、認知度向上や相互送客を図る。

### 【事業内容】

- 1 ストーリーに共有性を持つ産業遺産として日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」（兵庫県）と連携し、相互の情報発信を実施
  - (1) 北海道で「銀の馬車道 鉱石の道」のパネル展開催
  - (2) 兵庫県で「炭鉄港」のパネル展開催
- 2 パネル展開催に併せた実務者交流  
⇒ 1 (2)、2は令和4(2022)年度へ繰越し

### 【実施結果】

- 1 北海道で「銀の馬車道 鉱石の道」のパネル展開催
  - (1) 実施概要
 

タイトル：「炭鉄港×銀の馬車道 鉱石の道」北海道と兵庫県の日本遺産コラボ展  
 日時：令和3(2021)年10月22日（金）～12月19日（日）  
 場所：そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター石蔵  
 協力：日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」推進協議会
  - (2) 関連する取組み
 

上記パネル展の開催期間中に、夕張市・三笠市・美唄市・NPO法人炭鉱の記憶推進事業団の主催事業である「炭鉄港オンライン」と連携し、オンライン番組を生配信した。  
 タイトル：炭鉄港×銀の馬車道 鉱石の道 ～明治から繋がる二つの産業遺産～  
 日時：令和3(2021)年11月5日（金）17:00～18:00  
 配信拠点：そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター石蔵  
 ゲスト：兵庫県朝来市市長公室総合政策課長 和田 幸司氏





事業名	ポータルサイト構築事業
事業費	3,498,770 円（うち 2,274,200 円文化庁補助）

## 【目 的】

炭鉄港に関連する情報をワンストップで得られるサイトを構築し、構成団体が運営していくことにより、効果的な情報発信やファン獲得を図る。

## 【事業内容】

炭鉄港ポータルサイトの公開及び、協議会の連携による運営

- ・ CMS 導入により各構成員が新着情報を更新できるようにし、常時最新ニュースを発信
- ・ （各エリアで独自に開催するイベント情報も発信する）
- ・ ツアーの紹介、公開可能なガイド人材の紹介、モデルコース、観光情報、飲食店情報（R2 食文化事業からの発展）等の掲載

## 【実施結果】

### 1 実施概要

公開日：令和 3（2021）年 10 月 29 日（金）

※公開後、令和 4（2022）年 3 月までコンテンツを追加

公開から令和 4 年 3 月 31 日までのアクセス数：82,358 P V

### 2 掲載コンテンツ

- ・ 新着情報
- ・ 「炭鉄港」のストーリーの紹介
- ・ 構成文化財の紹介
- ・ イベント・ツアー情報（新着情報から、イベント・ツアー情報のみ抜粋したもの）
- ・ パンフレット・資料ダウンロード
- ・ お問い合わせフォーム
- ・ 炭鉄港 デジタル資料館、炭鉄港めし特設サイト、炭鉄港オンラインなど関連ページへのリンク
- ・ 構成文化財（一部）の 360° 写真
- ・ おすすめモデルコース
- ・ 炭鉄港ガイドの紹介
- ・ 12 市町の紹介（観光・飲食など）、12 市町のアクセス情報
- ・ ふるさと納税の情報
- ・ 炭鉄港ガイドになりたい方向けの情報



事業名	小樽を拠点とした情報発信事業
事業費	1,496,770 円（うち 972,900 円文化庁補助）

**【目的】**

観光都市「小樽」を訪れる観光客に対し炭鉄港の情報発信を行うことで、次の訪問先として炭鉄港エリアを選んでもらえるようPRする。

**【事業内容】**

小樽市観光物産プラザ（運河プラザ）内に炭鉄港PRコーナーを設置

**【実施結果】**

1 実施概要

設置期間：令和3(2021)年9月15日～令和4(2022)年3月15日

設置場所：小樽市観光物産プラザ（小樽運河プラザ）

設置内容

- ・ 炭鉄港三面パネル
- ・ 炭鉄港めしパネル
- ・ 炭鉄港映像放映モニター
- ・ 炭鉄港オンライン情報アクセス端末

2 設置効果

炭鉄港ガイドマップ設置分 500 部全て配布

アンケート回答者数 93 件



事業名	その他の経費
事業費	634,309円（うち556,904円文化庁補助）

## 【目 的】

日本遺産に認定されている各地域の団体が一堂に会し、全国の日本遺産の魅力を一体となって発信するとともに、認定地域相互の交流を図り、日本遺産の一層の発展を目指す。

## 【事業内容】

- 1 日本遺産サミットへのブース出展
- 2 エクスカーション参加
- 3 懇親会参加

## 【実施結果】

日本遺産サミットへのブース出展

### 1 実施概要

ブース実施日：令和3(2021)年11月13日(土)、14日(日)10:00~16:00

会場：こまつ芸術劇場うらら（石川県小松市土居原町710番地）

サイエンスヒルズこまつ（石川県小松市こまつ2番地）

こまつ2の杜わくわくコマツ未来館（石川県小松市こまつ2番地）※炭鉄港ブース出展場所

ホテルビナリオ小松セントレ（石川県小松市日の出町4丁目93）

### 2 参加者

会長・副会長所在市町、事務局から6名が参加

- ・ 小樽市産業港湾部観光振興室 田中主幹
- ・ 室蘭市経済部観光課 丸田課長
- ・ 芦別市総務部企画政策課まちづくり推進係 安部主任
- ・ 夕張市地域振興課地域振興係 熊谷主事
- ・ 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課 高井主査
- ・ 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課 毛利主事

### 3 出展内容

- ・ パネル展示及びパンフレット等配布物
- ・ 体験ワークショップ（石炭重さ当て）
- ・ ノベルティ配布（炭鉄港缶バッジ、室蘭ピンバッジ、炭鉄港マグカップ、立坑手ぬぐいほか）
- ・ 物販（炭鉄港からのお便り、炭鉄港そば、炭鉄港Tシャツ）

### 4 出展の状況

- ・ 日本遺産認定団体104団体のうち、92団体が出展。
- ・ 来場者は13日(土)3,000人、14日(日)3,000人で合計6,000人。
- ・ 前年度好評だった石炭の重さ当てゲームと、正解者が回せるガチャガチャを設置し、炭鉱マン、国鉄マンの格好で、ブースの前を通る来場者に声がけするなどのPRを行った。
- ・ ガチャガチャに興味を持つ小さな子どものほか、「触れますよ、持ってみてください」という声かけで、石炭に興味を持ち、重さ当てゲームに参加する来場者が多かった。
- ・ ゲームに参加する子どもの保護者等に袋詰めしたパンフレットを配るのが効果的だった。





事業名	炭鉄港カードキャンペーン事業
事業費	129,140 円（全額協議会負担）

**【目的】**

令和3(2021)年4月以降に配布開始する第2弾炭鉄港カードについて、期間限定キャンペーン等を実施することにより周遊促進効果を高める。

**【事業内容】**

カードをコンプリートした参加者を対象とした炭鉄港カードキャンペーンの開催

**【延期経過】**

- ・ 令和3(2021)年4月29日（祝・木）の配布開始を予定して、チラシの配布、ポスターの作成を行ったが、新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあることから、開始時期の延期が決定した。
- ・ 延期後の開始日として、まん延防止等重点措置の解除を見込んで、令和3(2021)年7月15日としていたが、まん延防止重点措置の更なる延長を受け、再び開始日を延期することとなった。
- ・ その後、まん延防止措置は解除されたものの、夏休み等の誘客に繋がる時期を過ぎていること、構成文化財や、配布施設が冬季休館となるものがあり、炭鉄港地域への誘客という事業の目的を果たせないことから、カード事業の実施を令和4(2022)年度に延期することとなった。

事業名	その他
事業費	-

民間企業との連携により、下記の商品が発売された

**【事業内容】**

1 セブン-イレブン・ジャパン「炭鉄港めし」

(1) 商品名

- ・ 芦別ガタタンラーメン
- ・ 美唄風焼き鳥
- ・ 夕張カレー蕎麦



(2) 発売場所等

空知及び周辺地域での販売後、令和4年2月上旬から全道1,001店舗で発売  
商品には炭鉄港のロゴが印刷されているほか、一部店舗では炭鉄港めしを紹介するPOPを掲示。

2 日本郵便株式会社「炭鉄港オリジナル フレーム切手セット」

- (1) 販売日 令和4年(2022年)3月14日(月)
- (2) 価格 1セットあたり 1,500円(税込)
- (3) 販売場所 道内一部郵便局(※空知管内・小樽市・室蘭市・安平町ほか)、炭鉄港関連施設(※今後順次発売予定)、郵便局のネットショップ

(4) 商品概要

- ・ 炭・鉄・港それぞれをメインテーマとした3シートでの商品展開。
- ・ それぞれのシートに該当する解説紙付き。

